

# 未来へとつなげる 折り鶴

皆さんは折り鶴を折ったことがありますか。

何かを強く願うとき、日本では折り鶴に想いを込め、それを千羽鶴としてつなぎます。

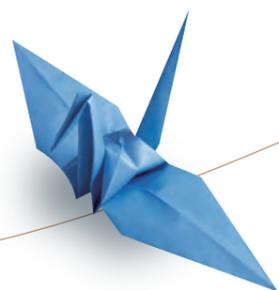
73年前、敵対し銃口を向け合った日本とアメリカ。

2つの国は戦争により大きな犠牲を払いました。その悲惨な歴史に目を向け、折り鶴を通して、国籍を越えて互いのことを知ろうとする子どもたちがいます。

浦添市牧港にある米軍施設キャン



プキンザー内にあるキンザー小学校に通う子どもたちは、日本の文化である折り鶴を学び、一折一折に想いを込め、自然災害に見舞われた被災地の復興や永遠の平和を願い沖縄の戦跡などに千羽鶴を届ける取り組みを行っています。その場所のことや歴史のことなどを学び、どのような想いを込めたいかを考え、主体的に行動しています。その輪は市内小学校との交流にもつながり、国を越え言葉の壁を越えて友情が育まれます。



平和への願いを込めて…  
あなたが作った折り鶴を  
届けませんか。

↑この点線から切り取ってください↑

PEACE  
URASOE



↑この点線から切り取ってください↑

## うらそえ平和イベント

戦争と平和を考える展示  
沖縄県の戦争遺跡  
～前田高地から首里まで～

- 沖縄県立埋蔵文化財センター  
住所/中頭郡西原町上原 193-7  
日時/6月5日(火)～24日(日)
- 浦添グスク・ようどれ館、県営浦添大公園  
南エントランス管理事務所多目的室  
日時/6月5日(火)～9月2日(日)  
料金/浦添グスク・ようどれ館のみ  
大人100円、子供50円  
問い合わせ/浦添グスク・ようどれ館  
☎(874)9345 ※月曜休館

毎週土曜催行 ガイドツアー(各回20名)

6月30日(土)～9月1日(土)/午前中(全8回)  
問い合わせ/浦添グスク・ようどれ館

映画「ハクソーリッジ」の舞台前田高地に残る  
戦跡を歴史ガイドが案内します。

前田高地の戦跡巡り

日時/6月24日(日) 午前9時15分～正午  
(午前8時30分～9時受付)  
集合場所/浦添グスク・ようどれ館  
対象/小学生以上(小学生は保護者同伴)  
費用/300円(資料代・保険料)  
定員/50人(先着順)  
募集期間/6月17日(日)まで  
申込方法/電話 ※月曜休館  
問い合わせ/浦添グスク・ようどれ館  
☎(874)9345 ※月曜休館

激戦地浦添での戦「前田高地の戦」を  
歴史ガイドと共に座学と野外学習で学べます。  
歴史ガイドと歩く前田高地(全2回)



第1回「座学」  
日時/6月10日(日) 午前10時～正午  
場所/中央公民館

第2回「野外学習」  
日時/6月17日(日) 午前10時～正午  
場所/浦添グスク・ようどれ館(集合場所)  
講師/親富祖 政昇氏  
(うらそえ歴史ガイド友の会)  
対象/市内在住・在勤・在学の人  
費用/無料  
定員/25人  
申し込み/5月8日(火)から募集し、  
定員になり次第締め切ります。  
申込方法/電話・FAX・公民館窓口  
※手話通訳有り  
問い合わせ/中央公民館 ☎(879)5503

平和に関する本の紹介  
Peace あなたが考える平和って…



期日/6月1日(金)～28日(木)  
場所/図書館エントランス企画書架  
問い合わせ/浦添市立図書館 ☎(876)4946

戦時中の写真パネル他、遺品などを展示  
沖縄・浦添戦(いくさ)展



期日/6月11日(月)～25日(月)  
場所/市役所1階ロビー(ATM前)  
問い合わせ/国際交流課 ☎(内線 2611)

想像してみてください。  
「愛する人と離れ離れになることを」  
想像してみてください。  
「もう一度とその笑顔に会えず、その温もりを感じるこ  
とができないことを」  
すぐに会えると信じて離れ離れになった家族は、戦  
争という時代の波に飲み込まれ、激動の時代を生き抜  
いてきました。戦争を経験した子どもたちは、高齢に  
なり、戦争の歴史を語る人たちは年々減っています。  
確実に戦争の記憶が薄れていく中で私たちにできる  
こと、それは一つ一つの歴史に目を向け、耳を傾け、  
心で感じ想像するということではないでしょうか。  
疎開でつながった縁から、戦争の記憶を後世に伝え  
ていこうと交流を深める中学生がいます。年齢や言葉  
の壁を越えて折り鶴をつなぎ、お互いのことを理解し  
ようとする子どもたちがいます。あなたはどの行動し  
ますか。  
浦添市では今年も様々な平和への取り組みを行いま  
す。ご家族で、地域で、職場で大切な人たちとともに  
平和について考えるきっかけになれば幸いです。

## 一人一人の想いが 未来へとつながる

